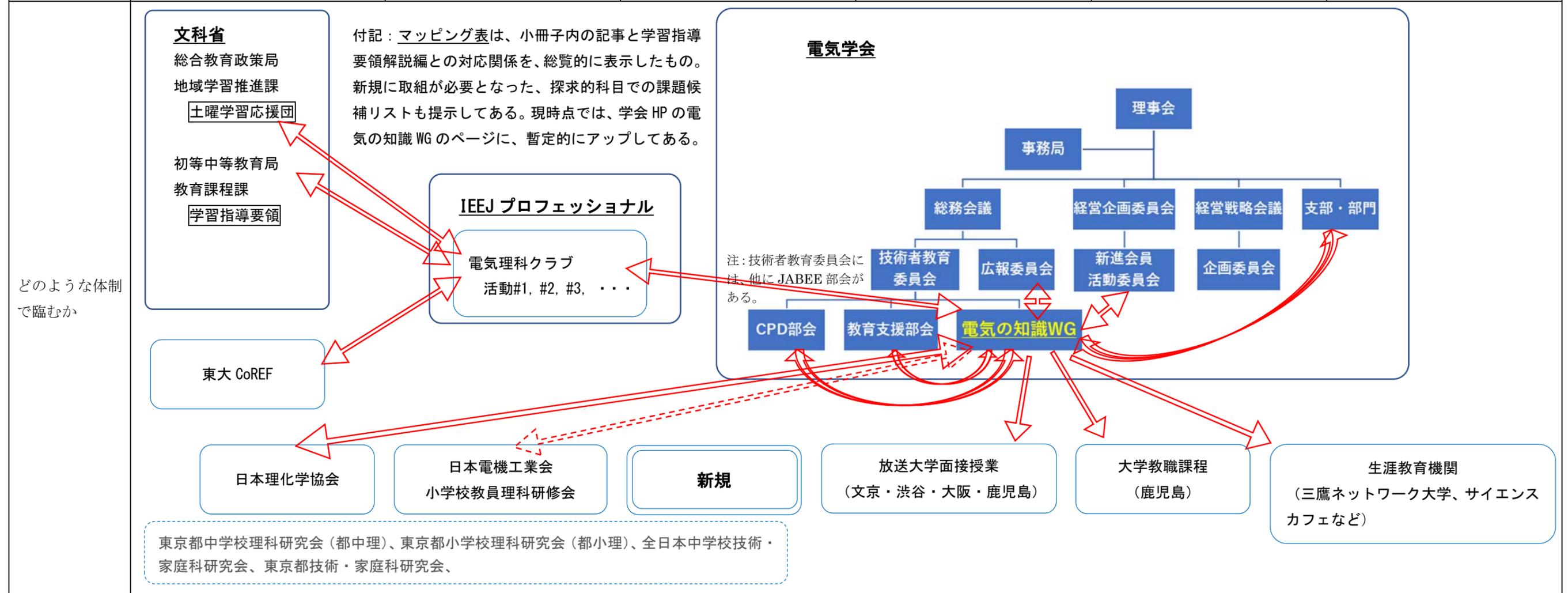


社会のための電気工学・電気技術（「電気の知識シリーズ」小冊子を軸とする社会と電気学会の連携活動）

誰と連携するか	小学・中学・高校の先生方	子どもたち・親たち	一般の方々 (含:政治・行政・報道)	学生	大学等の先生方
連携に何を使用するか					
小冊子	○	○	○	○	○
教材	PPT/PDF	△	△	○	○
	動画	○	○	○	○
マッピング表	○	×	△	×	×



- 当面の課題は何か
- ① 学会 HP, YouTube, SNS 等を通じた社会との連携充実 (特に本表の「誰か」が「何か」を知りたかったとき、学会の HP のどこを見ればよいかを直感的につかめる HP に。支部、部門活動情報も。)
  - ② 社会との小冊子に関わる Q&A 推進体制の整備と、Q&A 情報の収集と公開
  - ③ 学会内の他組織との実質を伴った連携 (例：支部の子供理科教室の活動、D 部門の地域振興費を使った東京電機大学の地域中学教員支援活動)
  - ④ 学会外組織との連携体制の整備 (学会外組織の大会等の機会活用、教育支援資金情報の提供、教育支援活動での協同)
  - ⑤ 既存小冊子の内容充実 (電子版 7 冊の 1 冊への集約、冊子内外とのリンク情報の充実) および 新規小冊子の執筆 (特に部門の協力が重要。材料、モータ、ソフトウェア、AI、パワエレ、センサー等)
  - ⑥ 実習教材 (実習教材情報)、動画教材 (動画教材情報) の充実 (何でも自前でやろうとせず、情報ポータル構築活動も)
  - ⑦ 小冊子と関連教材を使った教育実践および教育実践支援 (例：放送大学面接授業、日本理化学協会、日本電機工業会、大学教職課程、生涯教育機関 (例：三鷹ネットワーク大学))
  - ⑧ 学習指導要領と小冊子マッピング表の教育関係者への展開